

第四十六回

テアトル・ノウ 東京公演

令和五年

七月八日(土) 午後一時始

於 宝生能楽堂

能

杜 若
碇 潜

恋之舞

船出之習

味方 玄



狂言

水 汲

野村 裕基

仕舞

忠 度
源氏供養

観世 淳夫
観世 喜正

景 清

片山 九郎右衛門

令和五年七月八日(土)午後一時始(正午開場)

於宝生能楽堂

第四十六回 テアトル・ノウ 東京公演

杜

杜若の精

若

旅の僧
恋之舞

玄

宝生

欣哉

大鼓

龜井

忠雄

太鼓

小寺真佐人

竹市

学

後見

清水

寛二

地謡

武田

祥照

片山九郎右衛門

谷本

健吾

角当

直隆

休憩 二十分

狂言

水

汲

新発意

野村

裕基

いちや

野村

太一郎

後見

高野

和憲

働き

飯田

豪

仕舞

忠

度

観世

淳夫

武田

崇史

角当

直隆

分林

道治

浅見

慈一

源氏供養

観世

喜正

地謡

分林

道治

浅見

慈一

景

清

片山九郎右衛門

能

碇

潜

旅の僧
船出之習

則久

英志

大鼓

龜井

広忠

太鼓

前川

光範

問所の者

中村

修一

武田

祥照

地謡

小早川泰輝

観世

淳夫

健吾

谷本

健吾

喜正

團

川口

晃平

味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

玄



味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

玄

観世流能役者

味方

この度は「杜若」と「碇潜」を上演させていただきます。

「杜若」は二〇〇四年、京都府民ホール・アルティにての所演以来、実に十九年ぶりに勤めさせていただきます。その頃は、「魅せよう」といろいろなシカケをしたり、外向きの気で表現するような演技だったと、思います。

能「杜若」に底流する伊勢物語の「始めもなく終わりもなし」が如き世界観。白昼夢を思わせるような導入から、つと「杜若」の世界に皆さまを誘えたらと思います。

「碇潜」は、金春禪鳳本の後書きに「碇をうち候」と、あるので、碇の作り物を出して、また「甲を着」の表記もヒントに、工夫をいたします。

壇の浦にて沈んだ平家一門。その幻影として安徳天皇、二位尼、大納言局そして新中納言知盛が乗った御座船が早瀬の浦に浮かび上がります。この演出効果は、一瞬にして平家物語の大テーマ「無常」を現出させ、すべてを物語ります。

なにとぞご高覧賜りますようお願い申し上げます。

テアトル・ノウ主宰 味方 玄

入場料 (全席指定席)

正面席 8,000円

中正面・脇正面席 7,000円

お申込

テアトル・ノウ事務局 TEL&FAX 075-213-1774

ホームページからお申込みいただけます

<https://theatrenoh.com/>



チラシ使用写真 「杜若 恋之舞」「碇潜 船出之習」 味方 玄 撮影/金の星渡辺写真場

